



吉備路白ネギ生産出荷組合

組合員数：30名
 組合長：永田 茂さん
 主な出荷先：岡山、倉敷、福山

吉備路白ネギ生産出荷組合では、新規生産者を募集しています。
 お問い合わせは 吉備路アグリセンター：0866-93-3770 まで。

地域・人に守られて 農業がつかないでくれた絆を大切にしたい

就農したきっかけは
 会社勤めのかたわら、実家の米作りや大豆栽培をしていました。そんなこともあり、早期退職後は、地元の先輩に勧められて営農組合で大豆や麦の栽培に携わりました。それと並行して、タマネギや白ネギ、黒大豆の他、自家消費にも色々な野菜を育てていました。



本格的に栽培を始めて
 営農組合で3年を経た頃、地元仲間にも勧められ、独立して白ネギ栽培を本格的にはじめました。主な品種は龍翔。早生品種で多収、根が丈夫で長くてスリムなのが特徴で、11月初旬から2月初旬頃まで出荷します。

す。龍翔の収穫後には、晩生品種の関羽。こちらは身が硬めなので長持ちするのが特徴です。これまで携わってきた経験や知識はあったのですが、体力的にしんどい事が多く、好きな仕事を続けるために2年ほど前に好きだったタバコもやめました。

将来を見据えた栽培管理

白ネギは水の管理が重要で、圃場選びも、水はけの良い土地3か所で3年輪作をしています。水はけが悪いと病害の発生や収量減につながるため、昨年からJAや普及指導センターと協力して、30年度の栽培予定地で土壌の排水対策の検討をはじめました。

地元とのかわり

出荷組合では、地元小学校などの学校給食用に白ネギを提供しています。私個人も、自家用に作ったジャガイモ畑を小学校児童の収穫体験の場として提供し、組合、学校、先生や児童とのふれあいを大事にしています。



農業の魅力は

農業を続けてきたことで、どんな輪が広がり、同じ生産者のみならず、今まで以上に地元との関わりも増え、人が人を呼んでまた新しいつながりが生まれてきました。農業の魅力は、そんな「人とのつながり」を深められるところでしょう。

今後は

出荷組合では、主力メンバーが高齢化して今後の課題となっています。天候に恵まれ、人とのつながりが深い地域性を活かし、吉備路の地域の一員である意識をもって経済的にも安定して、仲間と楽しく笑顔で過ごせたいと思います。

【吉備路白ネギ生産出荷組合】

永田 茂さん

ながた しげる / 72歳
 就農して16年 / 白ネギ25a、水稻1.5haを経営。